



東っ子だより

— 学校教育目標 —
せいっぱい きたえ
のびよう 東っ子
自分を出し切り
笑顔いっぱいの学校に

令和8年3月23日 NO.13

心を一つに！“力”を出し切ったこの一年！

今年度もいよいよ終わりを迎えました。明後日には卒業式、その次の日には修了式となります。

子どもたちは日々の学習や行事に真剣に取り組む中で経験を重ね、心も体も大きく成長してきました。一人一人が自分の課題に向き合い、できるようになるまであきらめずに取り組む姿が、様々な場面で見られました。

授業では、初めは自信がもてなかったことにも進んで挑戦し、繰り返し取り組む中で「できた」「わかった」という実感を感じてきました。また、仲間の考えに耳を傾けたり、自分の思いを言葉で伝えたりする中で、互いに学び合う姿も育ってきました。こうした日々の積み重ねの努力が、確かな学力と自信につながっています。

5月、全校で「尾城山」への登山。あいにくの小雨の状況の中、険しい道のりに戸惑う姿もありましたが、仲間に声を掛け合い、励まし合いながら一步一步進む中で、最後までやりきろうとする強い気持ちが育まれていきました。頂上で味わった達成感は、子どもたちの大きな自信となり、心に深く刻まれたことと思います。あ那时的表情は、今でも心に残っています。

また、運動会をはじめとする他の行事においても、心を一つにして取り組む姿が多く見られました。それぞれが自分の役割に責任をもち、仲間と支え合いながら練習をしたことで、本番では一人一人が自分の力を出し切ることができました。うまくいったことだけでなく、思うようにはいかない経験も含めて、子どもたちにとって大きな学びある一年だったことと思います。

各学級の宝物の一部「仲間づくり」です。



- 1年生：1、2年遊び、学級遊びが楽しくできた。
- 2年生：けんかやチクチク言葉が少なくなった。
- 3年生：学級遊びで楽しく遊ぶためにルールや気持ちを大切にできた。
- 4年生：仲間の発言に反応できるようになった。低学年と仲良く遊べるようになった。
- 5年生：低学年のお手本となる姿になった。仲間に寄り添う声掛けができるようになった。
- 6年生：行事や遊びを通して、仲間と協力し、声を掛け合いながら支え合い、男女関係なく仲を深めることができた。

一年間の積み重ねの中で、自分のよさや仲間のよさに気付き、認め合う姿や困っている仲間に自然と手を差し伸べる姿が増えてきました。係活動や当番活動、委員会活動にも積極的に取り組み、学級や学校をよりよくしようとする意識の高まりも見られました。



こうした一人一人の成長が重なり合い、学校全体としての温かさやまとまりへとつながっていったことを、大変うれしく感じています。

小さな一歩の積み重ねが、大きな成長につながる！

令和7年度の子どもの姿から感じました。

保護者の皆様には、本校の教育活動にご理解と温かいご支援をいただき、心より感謝申し上げます。日々の励ましや見守りが、子どもたちの安心と意欲につながっていきました。

子どもたちは、新しい学年、新しい環境へと進んでいきます。この一年で培った力や経験を糧に、それぞれが自分らしさを大切にしながら、さらに成長していくことを願っています。

一年間、本当にありがとうございました。

校長 渡邊 克年